

## 平成30年度 病虫害発生予察情報(美濃地域) 9月予報

### 【 果樹 】

#### カメムシ類

チャバネアオカメムシの予察灯への誘殺数は中濃地域で多く推移しています。本年は、すでに本虫によるヒノキ毬果の口針鞘数が25本/果を超えた地点が認められ、一部山沿いの果樹園では被害が発生しています。今後は果樹園への飛来に十分注意し、発生が認められたら防除を実施してください。

### 【 野菜類・キク 】

#### タバコガ類 (主にオオタバコガ)

フェロモントラップへのオオタバコガの誘殺数は中濃地域のキクでは多く、ナスではやや多く推移しています。今後、高温で推移する場合、本虫の発生に好適な条件が続くと考えられます。ほ場での発生状況に注意し、薬剤効果が高い若齢幼虫期に防除を実施してください。

### 【 野菜類 】

#### コナジラミ類 (タバココナジラミ)

8月上旬から、野外に設置した粘着版への誘殺数は平年より多く推移しています。本虫はトマト黄化葉巻ウイルスを媒介するため、施設内へ本虫を持ち込まないようにしてください。また、ほ場で発生が確認された場合は、直ちに対策を実施してください。

### ○主な病虫害の発生時期及び防除時期 (9月)

	病虫害名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1旬	2旬	3旬	4旬	5旬	6旬	
水 稲	生育(ハツシモ)	並	＜出穂＞						・8/13調査 (6/11田植：農業技術センター)
	穂 いもち	並	発生最盛期＞						・穂いもち 穂ばらみ期～穂ぞろい期に防除を実施する。
	トビイロウンカ	少							・ツマグロヨコバイ 幼虫最盛期に防除を実施する。
	ツマグロヨコバイ	少		＜第4世代幼虫＞					・斑点米カメムシ類 穂ぞろい期～乳熟期に防除を実施する。
	斑点米カメムシ類	並	本 田 へ の 侵 入 ( 出 穂 以 降 )						
	防 除 適 期		▲ ～ ▲穂いもち・斑点米カメムシ類・ツマグロヨコバイ						
大 豆	生育(フクユタカ)	並		＜着莢＞					・7/31調査 (7/13は種：農業技術センター)
	カメムシ類	やや少	本 ぽ へ の 侵 入 ( 着 莢 期 以 降 )						・カメムシ類 着莢期から子実肥大期に防除する。
	ハスモンヨトウ	やや少	＜ 発 生 量 増 加 ＞						・ハスモンヨトウ 白変葉が初見したら直ちに防除する。
	防 除 適 期								
か き	岐阜西濃 中濃	並		＜第3世代成虫＞		＜第4世代幼虫＞			・幼虫発生初期の防除を徹底する。
	ハマキムシ類	少		＜第3世代成虫＞		＜第4世代幼虫＞			・着色始期までに防除を実施する。
	防 除 適 期								
な し	黒 星 病	やや少	＜ 発 生 量 増 加 ＞						・黒星病 収穫後の秋期防除を徹底する。
	防 除 適 期		▲黒星病 ～						
果 樹	カメムシ類	やや多	＜ 新 世 代 成 虫 ＞						・飛来が認められる場合は直ちに防除を実施する。
	防 除 適 期								
野 菜 ・ 花 き	灰色かび病	並	＜ 発 生 量 増 加 ＞						・同一系統薬剤の連用は避ける (薬剤耐性および抵抗性の発達)。
	ハスモンヨトウ	やや多	＜ 発 生 量 増 加 ＞						・灰色かび病 花がらや葉先枯れは感染源となるため取り除く。
	タバコガ類	やや多	＜ 発 生 量 増 加 ＞						・アブラムシ類 苗からの持ち込みに注意する。
	アブラムシ類	やや多							・ハスモンヨトウ・タバコガ類 若齢幼虫期の防除を徹底する。
	コナジラミ類	多							・コナジラミ・アザミウマ類 施設栽培では虫媒性ウイルスへの感染防止のため、防虫ネット展開による侵入防止と定植時の粒剤施用を徹底する。
	アザミウマ類	やや少							
	防 除 適 期								

注1) ▲、▲～▲：防除適期

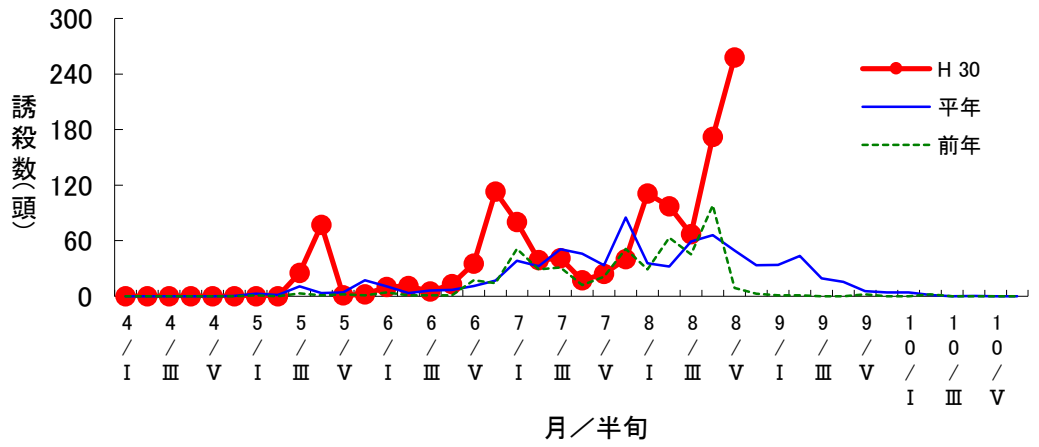
注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

### カメムシ類

7月頃から果樹カメムシ類はスギヤヒノキ毬果を吸汁し、繁殖します。本年は、平年よりも早いペースで口針鞘数が増加した結果、毬果がエサとして不適となり、8月に新世代成虫の果樹園への飛来が開始されたと考えられます。

今後も高温傾向が続けば、現在、被害が認められていないほ場でも飛来する可能性があるため、防除を徹底してください。

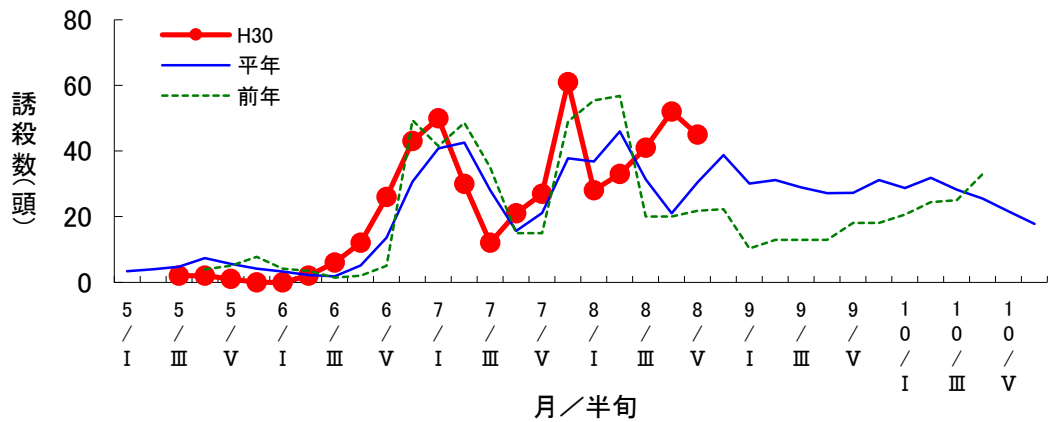


予察灯によるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移 (美濃加茂市山之上町)

### タバコガ類 (主にオオタバコガ)

中濃地域に設置したオオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数が増加しています。ほかの地域でも今後は気温が低下する10月まで発生が続くため、ほ場での発生状況には注意してください。

また、防除にあたっては、成虫の飛来最盛期から3～7日後の若齢幼虫期に実施してください。



フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺数の推移 (可児市川合)

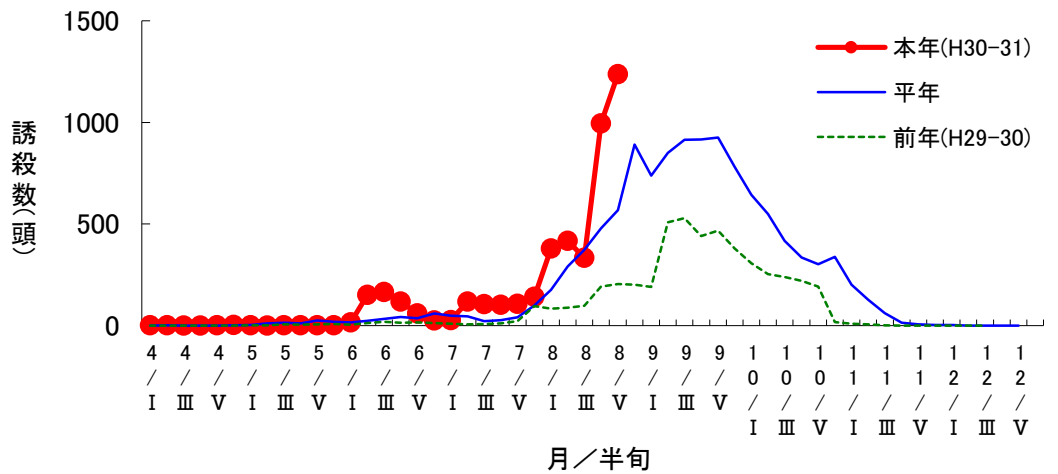
### コナジラミ類 (タバココナジラミ)

タバココナジラミはトマト黄化葉巻病の病原ウイルスを媒介します。

コナジラミ類の誘殺数は6月上旬から平年より多く推移し、この中には保毒虫もいると考えられます。

苗からの持ち込みのほか、出入り口等の開口部や隙間から侵入することもあるため、十分注意してください。

なお、薬剤感受性の異なる系統 (バイオタイプB及びQ) が存在することから、防除薬剤の選定には注意してください。



黄色粘着版によるコナジラミ類誘殺数の推移 (海津市日原)

## 農薬の安全使用に努めましょう！！

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

## 東海地方1カ月予報 (名古屋地方気象台 8月30日発表)

向こう1カ月の天候は、気温は平年並、降水量は平年並～多く、日照時間は平年並～少ない見込みです。天気は、数日の周期で変わり、平年に比べ、晴れの日が少ないでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767